学校番号	1006

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	検定講座 B	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	学習プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第３学年になり進路目標が決定した生徒に対しての講座です。進学や就職ともに進路先で必要となる資格取得・技術習得するための学習行います。自分から積極的に目標設定を行い、自らの能力開発につなげ、卒業後の進路への接続を図ります。

2　学習の到達目標

・２年間の高校生活で学んだ知識から自分に必要となる資格と技術が明確にわかる。１年間の実現可能な学習課題とスケジュールをプラニングすることできる。
・自らの能力・興味関心や希望する進路との関わりを十分に理解し、適切な課題目標を設定することができる。
・自ら設定した目標に向かって学習に取り組むことができる。卒業後も目標に向かって学び続けることができるよう、学習に向かう態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・進路実現のために自分に必要となる資格や技術を理解できている。 ・検定試験のための知識や技能を身につける。同じ問いでは正しく解答することができる。自分の目標となる基準を上回ることができる。	・自分の判断で目標を設定することができる。学習した内容が身についているか否かを判断し振り返ることができる。 ・自らが学習したことおよび方法について発表等を通じて相手に伝え表現力を磨くことができる。 ・定期的に学習スケジュールの見直しをしながら学習に取り組むことができる。	・自分にとっての適切なスケジューリング管理ができる。 ・個別の学習およびグループの学習において時間を大切にし、本校の教員に積極的に質問することで有意義なものにする。積極的に取り組む態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	検定試験について知る	目標設定 スケジューリング	a:自らの進路に必要な資格・技術を理解する。 b:自分に適した教材を準備することができる。 c:自分に適切な目標とスケジュールを設定することができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
	検定試験への実践	学習	a:基本的な事項についての確認テストに取り組むことができる。 b:目標との差を確認し次の学習につなげることができる。 c:学習機会において、教員に質問することができる。検定試験に申し込み、受験することができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 確認テスト	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
2学期	振り返り	振り返り 発表	a:確認テストや検定試験結果で目標の基準を上回ることができる。 b:自分の取り組みについて発表等を通じて相手と共有し伝えることができる。振り返りによって次の目標を再設定することができる。他の生徒の発表に関して意見することや自分に取り入れることができる。 c:自分の次の目標のために取り組むことができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 振り返りシートの状況確認	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
	検定試験への実践	学習	a:基本的な事項についての確認テストに取り組むことができる。 b:目標との差を確認し次の学習につなげることができる。 c:学習機会において、教員に質問することができる。時間を有意義に使い、自分の目標に向けて取り組むことができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 確認テスト	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察

3学期	振り返り	振り返り 発表	a:確認テストや検定試験結果で目標の基準を上回ることができる。 b:自分の取り組みについて発表等を通じて相手と共有し伝えることができる。振り返りによって次の目標を再設定することができる。他の生徒の発表に関して意見することや自分に取り入れることができる。 c:自分の進路実現に向けて、次の目標のために取り組むことができる。	受講態度の観察 振り返りシートの状況確認	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度